

ふるさと奥尻通信

平成28年10月31日
奥尻町教育委員会発行
事務局:01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

巻頭言

島の最高峰「神威山」は噴火したのか？それとも崩落したのか？噴火であれば火山灰があるはずですし、活火山の分類にも入っていないので、やはり崩れたものと理解できます。

特集 青苗遺跡の発見

奥尻島内の重要な遺跡の一つに青苗遺跡があります。ここは、約5000年前の縄文時代前～中期と約1000年前の擦文時代の二つの時代の文物が出土する遺跡です。遺跡内には、アワビの貝殻が約8割を占める貝塚がありますが、そもそも擦文時代の貝塚は他に例がないため、昭和20年代より学術的に注目されてきました。これまでに道路整備や宅地開発にともなう数度の大規模な発掘調査を行ってきましたが、擦文期の漁労の一端を示す精密な骨角器や、本州の都城との交流をうかがわせる水晶玉、丁字頭勾玉などの出土により、今日では全国の研究者が注目する最も有名な奥尻の遺跡となっています。

さて、何事も物の始まりというものを探してみたくなるものです。この青苗遺跡(貝塚)が最初に発見されたのは何時なのか。文献上の初出をもってその始まりとするならば、それは昭和6年(1931)8月22日に函館師範学校(道教育大函館校の前身)の深瀬春一が島を歩いて調査したことが挙げられます。彼はその様子を紀行文という軽妙なタッチで「奥尻島紀行」『旅と伝説』昭和6年12月1日号に載せています。



黒曜石の石槍(縄文時代)



骨角器の鉞先(擦文時代)

「此処は奥尻島最南端千畳ヶ岳である。真宗萬徳寺裏道より軽い斜面を登る事約半町、石器時代の遺蹟があった」とあります。続いて、「貝塚は萬徳寺裏手の急傾斜面で約25間の範囲で、貝層は1尺5寸乃至2尺5寸程であるが、ほとんど鮑によって形成されていた。此様な大きな鮑の貝塚は日本に於ても稀に見る所であろう」と言っています。遺物は、「此期の遺蹟から土器破片、石器、海獣の骨、牙等が出土した。土器は薄手硬度比較的高く無紋が多く、引搔模様、筵模様、刻文等とあった。石器は磨製石斧、石冠、石鏃、石匙、石槍等」とのこと。そしてそれらの遺物が火山灰に覆われていて、文献によれば、近年では享保9年(1724)に噴火したとされる島の最高峰、神威山か、もしくは寛保元年(1741)に噴火した松前大島の火山灰に当てはまるのではないかと述べています。

これらの記述を分析すると、「千畳ヶ丘」は青苗市街地を見下ろす標高20m前後の段丘のことで、「萬徳寺」は平成5年(1993)の震災で消滅した真宗大谷派の寺院、現在の青苗郵便局の真後ろに当たります。「大きな鮑の貝塚」というのは、まさに青苗貝塚を指し、指摘の通り、擦文期の貝塚は現在でも全国的にみて極々稀な存在です。出てきた土器は、引搔いたような模様や刻みを入れた模様があるというので、これはまさに擦文土器の語源となった表面の擦(こす)れたような模様(器の表面調整のためにヘラでこすった跡)のことを指します。石器には縄文時代に代表的な石の矢じりや槍先、北海道式石冠と思われるものなど、後の行政(町教委)による調査によって本格的に発掘されることとなる遺物が述べられています。



萬徳寺跡(左円内)と後方の青苗貝塚の位置



萬徳寺(中央奥)と青苗貝塚(左後方)



青苗遺跡の発掘風景 昭和51年



青苗貝塚の復元



昭和55年(1980)年12月公開の映画「男はつらいよ 寅次郎かもめ歌」のロケ風景です。通算26作目となった本作のマドンナは伊藤 蘭(25歳)。同53年のキャンディーズ解散後に女優として復帰した映画2作目となります。渥美清(寅さん)は52歳で、役者として脂がのる頃。車寅次郎=渥美清のイメージが定着し、以後は渥美は本名の田所康雄を完全に世間から消去して役者(寅さん)に徹する人生を歩みます。写真は、ロケの合間、伊藤(背中)が化粧直しをしながら、ADと流れを確認し合っているところでしょうか。場所は、すみれ(伊藤)の職場の加工場のシーンでしょうか。



学芸員オススメの一冊をご紹介します。本は海洋研修センター図書室で借りられます。

全国飲食チェーン本店巡礼 BUBBLE-B

牛丼、かつ丼、回転ずし、ラーメンなどなど、日本人の胃袋と心を満たしてきた飲食店たち。それらの本店、第一号店を訪ね歩いた記録。ありふれたチェーン店も、最初はこんな場所から!? 意外な発見も多々あり。眺めているだけで腹が減ってきて、思わず舌なめずりしちゃうかも。北海道の某有名ハンバーグ店のルーツが岩手県盛岡市にあったとは。

月刊 奥尻のつり 10月号

引き続き港湾ではサビキ釣りが盛んで、アジやイワシの大群が動いています。特に今年は大きなアジが多く、表層には小型な群れがあっても、もっと深い場所には25cmにもなる大物が回遊しています。こちらは、サビキよりも小さなワームに似たような仕掛けを用いた、その名も「アジング」のほうが確実です。さらに、サバも混じることがあり、こちらでも25cm弱もあります。一方、エサ釣りの方では、夕方から夜間にかけて、25cm程度のハチガラやソイなどの根魚、たまに40cm程度のカジカが掛かり始めていますので、秋・冬場の磯釣り後半戦も開幕間近です。小さいアジを釣っておいて、それをエサにソイの大物を釣り上げるのがオススメ。場所は...秘密にしたいところですが、ヒントとしては、岩場でも深みのある場所、ハチガラの後から釣れだします。

昭和奥尻生活詩 新谷清二の鳥賊つけ1ヶ月 第14回

釣石尋常小学校高等科二年生 文集「鳥の子」第八号より
 れ今た築釣く五三遅かかをな位たた為か
 来降石ににっだ分んたたげではだ陸た起
 たり油来石てっだだ。た、だ居。に。き
 。そをた油いたっ。俺途昨久。な朝近九て
 う積ら買た。た茶船中日遠もい鳥い時見
 だん岩い。昨。津は鈴ののう。賊の頃た
 っで内に飯日釣にフ木様家す皆はが錨ら
 っ帰の行を釣っ入オさにもっ十二わを大
 空っ船っ食ったっしん落見か匹十ら下分
 はて入てった数たドのどえりか尾らる陸
 段きっ来て鳥はらだ船さる明らとなしに
 々たてたか賊俺五かにな。る五つかた近
 は。来。ら臭十時ら抜 錨く尾けっ

すす載業こをたでの掲ら用
 …。せをの知こ知方載つに町
 。どらし頃るとらのやて古制
 れれははこのな声地い写施
 をない掲となか掛元る真行
 選いま載がいつけののを五
 ぶのす写で風たもボで提十
 かがが真き景時あうす供周
 悩残、のまや代リンがし年
 み念全選し町、テ、て記念
 中で別た並、今イ新も誌
 で を作。み見まア聞

懐かしい写真発見!



完成した竪穴住居

きなしし体がを三函し掛うでタ
 ま展たた験屋、年館まけやし | 稲
 す示後かプ根そ生うい三つたの穂
 。物にら口をしが・ま年と豎グふ
 と修でグ取て初サしの完穴ラれ
 し繕すラリ後年 | た長成住ンあ
 てし。ム付輩度ル。期し居ドい
 活な今とけのに高そ間までに研
 用が後しる現穴ののにしたて修
 しらはてと一堀現理渡た、建セ
 て新越建い年り在由っ!、設ン
 いた冬設う生 のはて足よ中

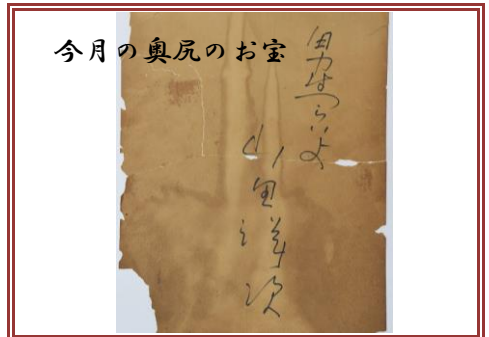
縄文の竪穴住居完成

秋の魚末使わすわめ料がも
 冬)のにえれがらるの出あ地元
 シが鳴なまて、は作葦来つの
 ー聞きりせい縄た業やまて、父
 ズこ声まんな文くがスした。堅
 開てみて、の代ん変キ。穴さん
 幕きたた。で、稲つし刈に居た
 直まいそ、稲つし作た。つり屋
 前したも。るもは行で稲集材根
 !た。るもは行で稲集材根力

新米之記録 (編集後記)

のまもも手でがせのしをはタ
 花しあ育にしそい個。た。終、
 をたりた入たれか人。え。今歴
 咲、なら。ほ。観今、シ史ふ
 か来彩かず今ど勾光夏冬 | 民
 せ年につ、年多玉客は季ズ俗
 たは欠たまはく体がツ休ン資
 い色けかた、あ験少ア館の料
 どりしたマのま利か客入館示
 りいとりがん者た外ま間

稲穂の展示室今季終了



山田洋次のサイン 男はつらいよロケ